

茂原市協働提案事業 チェックシート

今後の市民協働事業をより良いものとするため、協働提案事業の実施中や終了後に、項目別に4段階評価（A:適切であった、B:改善を要する、C:抜本的な見直しが必要、D:不適切であった）を実施します。

事業の実施体制や課題解決の状況等について、提案者および市が意見を交換することにより、今後の市民協働事業の効果を高め、さらに推進できるように取り組んでまいります。

事業の名称	地域力を高めるキーパーソン塾
提案者名	まちづくり茂原サポート
事業概要	地域活動に関心のある方を対象とし、講師を招いて講座を開き、茂原市の地域資源のもたらす可能性について、講師自身が携わった事例事案を交えながら考える機会とする。
事業の始期 および終期	平成31年3月21日

評価項目	評価の観点	評価	備考
(1)事業内容	課題を解決するための事業内容となっていたか。	A	聴衆から具体的な実践アイデアの発表もあり、課題解決の糸口になった。半歩前進と評価できる。
(2)役割分担	提案団体と市の役割分担は適切であったか。	A	担当職員と団体側でアイデアを出し合い、できる範囲で一緒に考え、実施に至った。
(3)情報共有	事業の準備および実施に際し、適切な情報共有が行われたか。	A	準備段階から実施に至るまで、適切に情報共有が行われた。
(4)協働の成果	提案団体又は市単独で実施した場合と比べて、協働の成果が得られたか。	A	来場者も多く、協働で実施した成果が得られた。来場者がキーパーソンとなることが期待される。
(5)市民ニーズ	協働提案事業としたことで、市民ニーズは満たされたか。	B	課題解決のきっかけとなったが、余地は残った。今後も継続していく。
(6)市民参加	協働提案事業としたことで、より多くの市民参加が得られたか。	A	70名弱の参加があり、多くの市民参加があったと認められる。